| 学校番号 | 3030 |
|---|---|

# 令和８年度　家庭科

| 教科 | 家庭 | 科目 | 家庭基礎 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新 Agenda 家庭基礎（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 2026 最新生活ハンドブック 資料＆成分表＆ICT（第一学習社） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「家庭基礎」では、自立の意味と自立の基礎となる食・衣・住、そして消費生活についての知識や技術を習得するとともに、その背景にある社会や文化、政治経済のしくみを学びます。それらをもとに、家族や地域に住む、子ども、高齢者、障がい者、社会的マイノリティなど、さまざまな人たちについて学び理解するとともに、生活課題を総合的・グローバルな視点でとらえ、探求的・主体的に取り組み、よりよい生活や社会を築くために必要な課題解決能力を培っていきます。実験・実習、グループディスカッションなどの体験学習を通して実践的に学習します。積極的に取り組んでください。

## 2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。興味・理解を深めやすい実験・実習・グループワーク・ＩＴの活用など体験的な学習を多く取り入れる。実験・実習に際しては事故防止のため細心の注意を図る。レポート・感想文など毎回の授業で、学習上の課題の把握に努め、振り返り学習、学習評価の工夫に生かす。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識・技能を身につけている。 | 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断・表現し、工夫して創造する能力を身につけている。 | 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期中間 | 自分・家族～多様化した社会に生きる～ | 1. これからをどう生きるか<br><br>2. 青年期の自立<br><br>3. 社会の変化と家族<br><br>4. 家族・人生・生き方と法律<br><br>5. 多様な課題を抱える家族・家庭<br><br>6.持続可能な生活と仕事<br><br>7. 多様な生き方を保証する社会へ | a:自立した社会生活を営むための生活課題に対応した意思決定の必要性を理解している。<br>現代の家族の特徴や機能について、歴史的・文化的・社会的変化との関連から理解している。<br>家族に関する法律の基本的な趣旨を理解している。<br>b:よりよい人間関係を築くための課題を見いだし、自己実現をはかるために、自立した人間になることの必要性を理解している。家族・家庭と社会のかかわりについての課題を見出しその解決をめざして思考を深め、適切に表現している。<br>c:人間のライフステージごとの発達課題について理解し、青年期は自己のアイデンデンティを確立する時期であることを認識している。家族・家庭についての学習を自分の問題としてとらえ、生涯を見通して考えようとしている。<br>事例研究、グループワークを通して実践的に学習している。 | 定期考査 | 定期考査 | 春休み課題<br><br>授業プリント<br><br>振り返りシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 前期期末 | 衣生活 | 1.衣生活を見直す<br><br>2. 衣服の機能と着装<br><br>3. 衣服の材料と成り立ち<br><br>4. 衣服の管理<br><br>5.安心して衣服を着るために<br><br>6. 被服実習(エプロン製作) | a:主体的に衣生活を営むために必要な着装、被服材料、被服の構成、被服製作、被服管理などを科学的に理解し、安全と環境に配慮した衣生活を送るために必要な知識・技能を身につけている。<br>b:着装、被服材料、被服の構成、被服製作、被服管理などについて課題を見出し、その解決をめざして思考を深め表現している。<br>c:着装、被服材料、被服の構成、被服製作、被服管理などの衣生活の科学と文化に関心をもち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。 | 定期考査<br><br>被服実習 | 定期考査<br><br>被服実習レポート<br><br>p@; | 授業プリント<br><br>振り返りシート<br><br>夏休み課題 |
| 後期中間 | 食生活~楽しく安全に食べる~ | 1. 栄養素と食品<br><br>2. 栄養素のはたらきと食品の栄養<br><br>3. 食品の選択と取り扱い<br><br>4. 食品の安全性<br><br>5. 豊かな食生活の背景には<br><br>6. 食事をつくる | a:主体的に食生活を営むために必要な情報を収集・整理し、食生活の自立に必要な基礎的調理ができる。健康で安全な食生活を営むために必要な知識・技能を身につけている。<br>b:食生活の成り立ちおよび変化について知り、現代の食生活の問題点を探ることができる。<br>c:栄養素の学習を通して、自分や家族の食生活に課題を見出し、解決するよう考えることができる。 | 調理実習 | 調理実習レポート | 授業プリント<br><br>振り返りシート<br><br>調理実習振り返り課題 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期期末 | 子ども～子どもと生きる～ | 1.子どもの権利と福祉<br><br>2.子どもの育つ環境と社会<br><br>3.子どもの心と体の発達<br><br>4.子どもと遊び | a: 乳幼児期が人間の発達段階において重要な時期であることを理解している。社会全体で子育てを支援する必要性を理解している。子どもの権利や福祉について、具体的な法律や制度などの情報を収集・整理することができる。<br>b: 遊びの意義や児童文化の子どもへの影響をについてまとめることができる。<br>c: 保育の重要性や社会の果たす役割について考えようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 授業プリント<br><br>振り返りシート |
| | 消費・環境 | 1.お金の管理とﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝ<br>2.暮らしと経済のかかわり<br>3.意思決定と契約<br>4.消費者問題<br>5. 消費者保護 | a: 自立した社会生活を営むための生活課題に対応した意思決定の必要性を理解している。契約の重要性及び消費者保護の仕組みについて理解している。<br>b: 消費生活における課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、適切に表現している。<br>c: 消費行動が環境・社会とどのようにつながっているか主体的に考えようとしている。<br>事例研究、グループワークを通して実践的に学習している。 | 定期考査 | 定期考査 | 授業プリント<br><br>振り返りシート |
| | 社会福祉 | 1. 生活を支える福祉と社会保障制度<br><br>2.高齢者・社会的弱者・マイノリティ理解と福祉<br><br>3. 共生社会の実現にむけて | a: 日本の社会的セーフティネットのしくみについて知り、支えあう社会の理念とその創造について考え、共生社会の重要性について理解している。<br>高齢者・社会的弱者・マイノリティの権利や福祉について、具体的な法律や制度などの情報を収集・整理することができる。<br>b: 共生社会実現のため、社会の現状と課題について考え、まとめることができる。<br>c: 社会保障の意味とそのしくみについて知り、共生社会における社会の一員として主体的に行動しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 授業プリント<br><br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度